

青春愛蔵版

三浦朱門

心から心への才知

一度だけを生きる愛

青春出版

一度だけを生きる愛——心から心への才知——

昭和四十三年九月十五日 第一刷
昭和四十六年十二月二十日 第五十四刷

著者 三浦 朱門
発行者 小沢 和一

発行所 株式会社 青春出版社

東京都新宿区若松町73番地
振替番号東京九八六〇二番
TEL (203) 五一三一―五

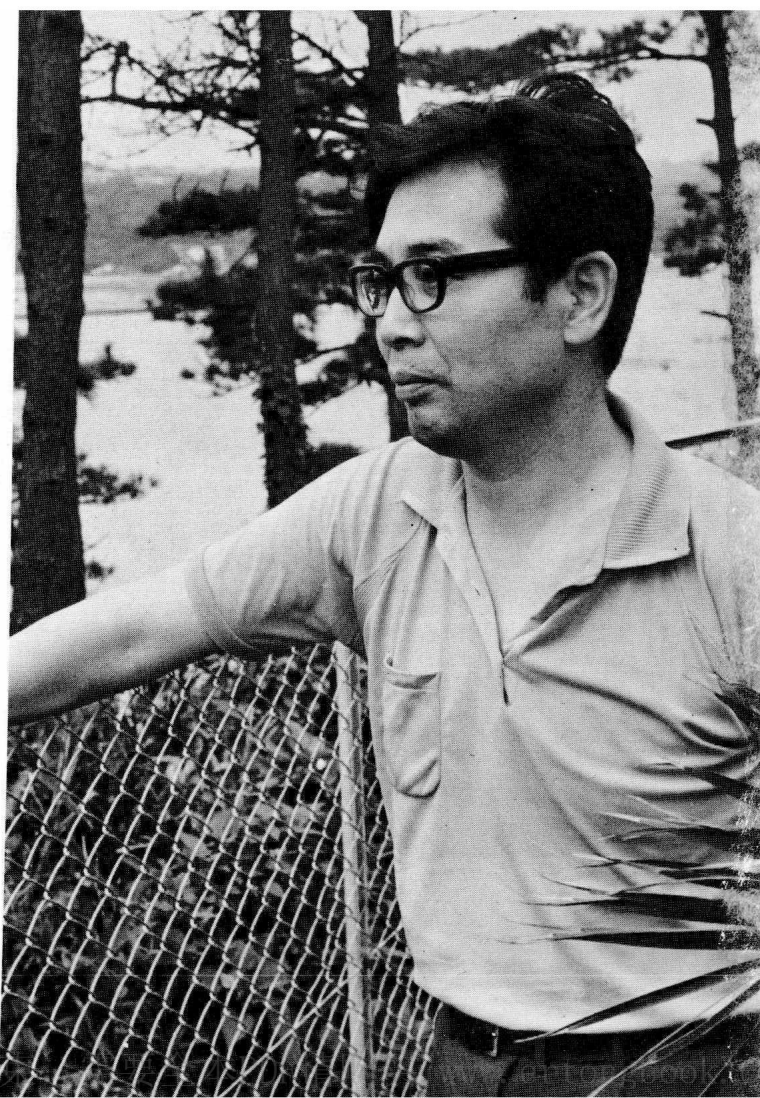
★の本をお読みになったご意見ご感想を編集部までお寄せ頂ければ幸いです。

印刷・石野印刷 製本・石毛製本

0000-202802-3822

一度だけを
生きる愛

三浦朱門



著者近影

多分、結婚には必要なものは、

寛大さと、誠実さと、それ
に夫婦がステキではなくて、

ちよいといり、消極なことであろ

うなと思います。

私たち

の場合、寛大の至徳はあ

るにのものと、私は誠実とい

たいところでですけど、そんなとまでは

めなものでもなく、只、バカ正直

ではありました。それで、いろいろ

ご迷惑もあつたけしましたべ……。

まろかいまいのは、二人ともちつとも

ステキでよいところ。

というわけで、平凡であることは、

それなりに偉大で、それいふものだ

ろうと思います。その程度で

ゴカンベン下さい。

結子



朝日新聞社提供

目

次

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

I 愛の才知

相手のどこをえらぶか.....

15

誘いにくい女性 16

何でもつき合ってみよう 18

関心を示す意識の方法 20

妻にしようとする決意 22

つまらない男にひっかからないために.....

25

自分の一生をたくしうる男性 25

意外さが恋愛の条件 27

男の悪だくみ 29

こんな娘はだまされる 31

男の何を知るべきか.....

34

みのらない恋の見分け方 34

男らしさの感じかた 37

錯覚しやすい判別 39

本物はどう発見するか 49

異性のもつ未知の神秘.....

43

自分より優れた人を愛さない……………52

妹のような存在の対象 43
 嚙んでみるとメリケン粉 45
 天使のように見える女性 47
 本当に自分の求める女性 49

身も心もボロボロにしないために 52
 月のような女性 56
 愛されるキツカケ 58

広い世間の定理……………61

とらえ方の感覚 61
 許容範囲は広い 62
 いいセンまでいけるPR 65
 好奇心を惹く材料 67
 ガマンできない自分の存在 69
 女性から近よってゆくべきとき 71
 男性に近よる無難な方法 74
 ただ一人の人という気持ちを持てる 76
 つき合うことがつかむチャンス 79

II 結婚の才知……………83

男がすべての女性に欲求すること.....84

男性が女性に期待するもの 84

謎めいた言葉の欲望との関係 87

言葉とプロポーズ 88

セックスがひそんでいる表現 90

底にひそむ性の関係.....93

結婚するやつまらない夫婦 93

男類と女類の意識の関係 97

男であるための男らしさ 100

男と女に人間関係などない 104

性の対象になるときの存在 106

彼もウソつき、彼女もウソつき.....109

彼をうまくだます女性 109

本능が彼女自身をあざむく 112

だまされない自分のルール 116

嫉妬の感情を逆用するしかた.....120

ヤキモチは努力につながる 120

嫉妬心を刺激してたぐりよせる 123

嫉妬心に対処する方法 125

ケンカの勝ちかた……………129

大いにケンカしよう 129

ロバのようなバカだと思ふこと 131

相手を論破する攻略のコツ 132

モルトケの心掛け 134

あなたに愛を求めるプロセス……………137

見合う心の使いかた 137

男が金を払う心根 139

彼の正体を測る法 141

男が女にだまされる段階 143

愛があなたの許を去るとき……………146

想像力と空想力とは違う 146

うるんだ目で人生を見てはいけない 148

ほんとうに愛を貰くとき 150

悲しみを受けとめるために 152

III 生きる才知……………155

激しい愛の目的意識……………156

きびしい裸の出発 156

最も純粹で本来的な形 158

粘膜の接触だけで一体か 161

二人の間の愛 164

死の意識は生き方の意識 166

相手への不安と自分の価値……………169

子供を生ませる危険な存在 169

哲学を愛する彼女 172

お見合いの魅力 173

ムコとしての市場価値 175

女性はどうな生き方がいいか……………177

去勢された男の定理 177

世間が許さぬ悪い空想 179

準男性的な女性 181

恋愛に優先権をあたえるべきである 183

子供を生む女の特権がすべて 185

結婚は誤解によつて生ずる……………187

彼女がさとした人間のむなしさ 187
 男性の前で沈黙する女性 190
 美しく錯覚させる場所 192
 美点をフルに發揮するために 195

二人にいだく親の心理と存在……………199

父のヒステリックな怒りは何か 199
 兄が妹に考える妄想 202
 娘の紹介テクニク 204
 両家の人々をだまし切ること 206

結婚のワナに陥らないために……………208

依存は具合の悪い事実 208
 結婚の意識と現実 211
 結婚は最悪の部分を見せ合う場 214
 結局、おとなへの屈伏 216

恋人を得た瞬間から……………219

親友もあっさりソデにされる 219
 青春が去っていくとき 222
 恋愛はあたり前の偶然 225

章
扉
カ
ッ
ト

生
澤

朗

I 愛の才知

